

2017年3月25日

日本アニメーション学会 第19回大会実行委員長  
陣内利博

平成28年度の日本アニメーション学会第19回大会の実行委員長を務めます、武蔵野美術大学の陣内利博です。まず小出会長からのニューズレターでのご報告もありましたように大会開催通知が大変遅れたことを陳謝いたします。

本年度の大会は青森県立美術館で開催いたします。6月最終週の土日となりますので、多くの会員の方々のご参加を期待しております、よろしくお願いたします。

大会第第一号通信として本文章を提示いたします。

- 1 はじめに
- 2 会期
- 3 開催場所
- 4 テーマ
- 5 参加費
- 6 研究発表について
- 7 プログラム案
- 8 今後のスケジュール

## 1 はじめに

本大会は1817年に日本で初めてのアニメーション作品が上映された年として「日本アニメ100周年」と呼ばれる記念すべき年の大会となります。学会としても原点に戻り「アニメーションの原点」と題して、事物を動かし「いのち」を与えるアニメーション表現と造形の歴史を再考する機会とします。

今回は、美術のみならず特撮、アニメーション、マンガなど幅広い表現領域のコレクションや展覧会の開催を行っている青森県立美術館を会場とします。隣接する三内丸山遺跡は日本文化のルーツを考察する上での重要な縄文文化遺産であり、美術館は遺跡の発掘現場を連想させる独特な空間を有しています。日本アニメーション誕生100年という記念すべき本年にANIMAの原点でもある「縄文の地、青森」での学会開催は意義深いものとなるでしょう。実行委員会の体制が特殊であることも併記しておきます。本大会は大学での開催ではなく実行委員会主催で美術館の共催となります。武蔵野美術大学は第3回大会を開催し、6年前の開催も予定しておりましたが、震災で中止した経緯があります。今回は青森県立美術館での開催を準備致しました。会員でもある青森県立美術館の工藤学芸主幹の尽力と本学会東日本支部の先生たち地元の方のご協力で実現いたしました。本大会の主催は第19回日本アニメーション学会大会実行委員会が務めさせていただきます。実行委員会は一つの大学ではなく遠方の会員で組織しました。会員の皆様にはご不便をおかけすることもあると思っておりますので、あらかじめご了承ください。

名称：第19回日本アニメーション学会大会

2 会期: 2017年6月24日(土曜日)、25日(日曜日)

3 開催場所: 青森県立美術館 シアター、ワークショップ

#### 4 テーマ： アニメーションの原点

主催：第19回日本アニメーション学会大会実行委員会（日本アニメーション学会）

共催：青森県立美術館

協力：武蔵野美術大学（交渉中）

実行委員長：陣内 利博（武蔵野美術大学）

実行委員：伊藤隆介・倉重哲二（北海道教育大学）、工藤健志（青森県立美術館学芸主幹）、  
大島慶太郎（北海道情報大学）、津堅信之（アニメーション研究家）他、調整中

#### 5 大会参加費：会員 5000円 一般・学生 2000円

#### 6 研究発表について

研究発表は過去2回の大会でも設定されたこの「アニメーションの原点」というテーマに沿った研究と、会員の研究を合わせて募集いたします。例えば、アニメーションとは何か、アニメとの違いは？改めてその定義や概念規定を考える、あるいはデジタル化や社会的・文化的位置付けの変化という視点からアニメーションの座標やベクトルについて考えるのか、あるいは理論研究部会で取り組んでいるようなアニメーションの学問の特質や課題、アニメーション研究や学の方法論や問題点を考えるなど様々なことが考えられます。日本アニメーション百年に因み、日本初のアニメーションについて考えることにより、アニメーションの研究、とりわけ歴史研究の態度や方法論について本質的な議論ができることを期待しております。

会員の皆様はふるって応募ください。質疑応答含め30分の発表を想定しております。4月30日を応募締切とさせていただきます。お急ぎの方は下記アドレスでご申請ください。

申し込み：第19回大会専用 [Jsas2017@jsas.net](mailto:Jsas2017@jsas.net)

#### 7 プログラム案

6月24日（土）

基調講演：「タイトル未定」小出正志（日本アニメーション学会会長、東京造形大学）

記念公演（スペシャルトーク）：「タイトル講師未定」 ※一般聴講可能

シンポジウム：「日本のアニメーションのはじまり(仮)」(登壇者交渉中) ※一般聴講可能

研究発表：分科会

レセプション

6月25日（日）

研究発表：分科会

ICAF 作品上映会（ラブラブショー選抜予定） ※一般聴講可能

学会員のエクスカージョンとして、26日(月)に十和田現代美術館及び寺山修司記念館を予定。

#### 8 今後のスケジュール

大会第1号通信(3月末配信予定:学会ニューズレター/研究発表募集)

大会第2号通信(4月中旬配信予定:学会ニューズレター/宿泊情報など)

大会第3号通信(5月連休明け配信予定:学会ニューズレタープログラム確定/大会参加案内および申込)

\* 学会事務局による総会通知に同封

大会第4号通信(6月中旬配信予定:大会直前受付案内)

以上